

発展練習問題 6-3

<解答>

製造間接費			
[間 接 材 料 費]	(243,700)	[仕 掛 品]	(704,000)
[間 接 労 務 費]	(209,600)	[製造間接費配賦差異]	(2,600)
[間 接 経 費]	(253,300)	[—]	(—)
[—]	(—)	[—]	(—)

【解説】

製造間接費の予定配賦額と実際発生額から製造間接費配賦差異を計算させることが目的の問題だが、解答形式が勘定記入になっていることに加えて、資料の与え方も基本練習問題 6-2 と比べると複雑になっていて、製造間接費ではない情報も含まれているため若干難易度が上がっている。

①製造間接費の予定配賦額

資料より予定配賦率を計算すると、

$$6,472,000 \text{ 円} \div 8,090 \text{ 時間} = 800 \text{ 円/時間}$$

当月の直接作業時間は 880 時間だから

$$800 \times 880 = 704,000 \text{ 円}$$

②製造間接費の実際発生額

資料のうち製造間接費に該当するものは次の通りである。間接材料費や間接労務費に関しては、直接材料費や直接労務費との区別が正確にできるかどうか重要になる。

- ・ 当月の補助材料消費額：186,000 円 → 間接材料費
- ・ 当月の工場消耗品消費額：21,500 円 → 間接材料費
- ・ 当月の消耗工具器具備品消費額：36,200 円 → 間接材料費
- ・ 当月の間接工 E 及び工場事務職員 F の賃金・給与額 → 間接労務費
(110,800 + 90,800) + (37,200 + 19,900) - (31,500 + 20,600) = 206,600 円
- ・ 直接工の間接作業担当分の賃金：600 × 5 = 3,000 円 → 間接労務費
- ・ 当月の間接経費実際発生額：253,300 円 → 間接経費

以上を合計すると、製造間接費の実際発生額は 706,600 円である。

したがって、予定配賦額 704,000 < 実際発生額 706,600 より 2,600 円の借方差異である。間接材料費、間接労務費、間接経費に区分して製造間接費に記帳すると解答のようになる。